

■ 中小企業の経営支援に関する取組方針

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」の精神のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、皆さまと共に歩み、成長・発展することを経営理念としております。

お客さまの経営課題に共に取り組むため、知識・ノウハウを蓄積し、的確なアドバイスやソリューション提案に努めてまいります。また、グループのネットワークを活かし、質の高いサービスを提供するとともに、地域金融の担い手として円滑な金融支援に努めてまいります。

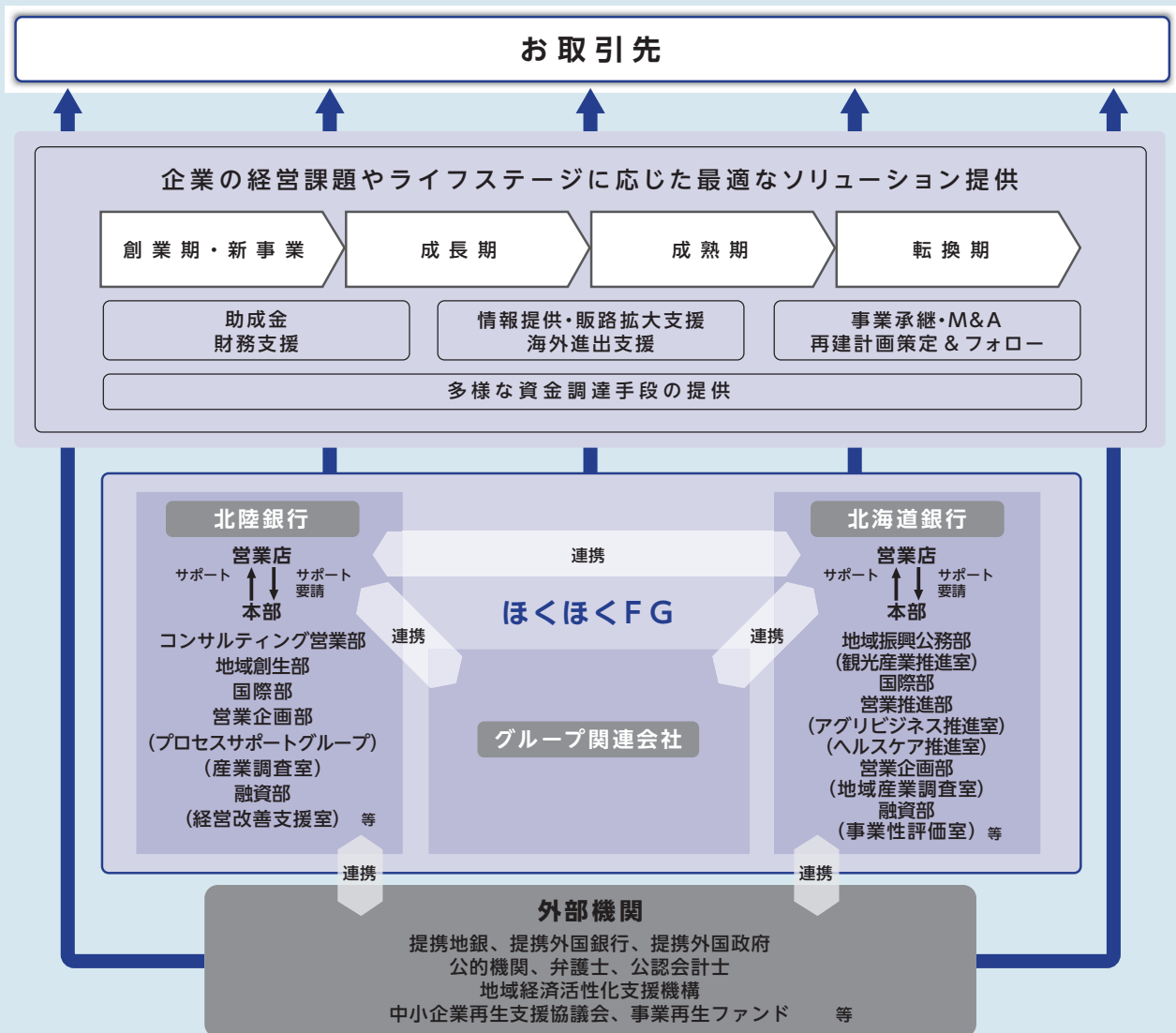
お客さまの経営支援を通じて地域活性化に貢献し、地域から親しまれ頼りにされる金融グループを目指してまいります。

■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備

ほくほくフィナンシャルグループでは、「経営基盤の強靱化」の取り組みの1つとして、中小企業の経営支援に取り組んでいます。経営改善支援取組先の選定、事業計画の策定と実績のフォローを北陸銀行融資部(経営改善支援室)、北海道銀行融資部(事業性評価室)が担っています。また、営業力の向上に向けたお取引先への情報提供と販路拡大支援、海外進出支援に関するサポートを北陸銀行地域創生部、コンサルティング営業部、国際部、営業企画部(プロセスサポートグループ、産業調査室)および北海道銀行地域振興公務部、営業推進部、営業企画部(地域産業調査室)、国際部が担い、事業承

継、M&Aについては、北陸銀行コンサルティング営業部、北海道銀行営業推進部がそれぞれ外部専門機関と連携し、営業店とともにコンサルティングを行っています。また、各担当部・室では、お取引先に対する目利き力、コンサルティング力を持つ人材の養成に努めています。

経営の改善のための取り組みに関する計画・実績・進捗状況等については、経営会議や取締役会が各担当部・室より報告を受け、指示を行い、諸施策等の改善やさらなる充実を図る態勢としています。



当社グループでは、北陸・北海道・三大都市等を結ぶ国内広域ネットワークと、海外駐在員事務所や提携外国銀行、現地行政機関の機能を活用し、各種商談会の開催や活きた情報の提供、セミナーの開催などを通じ、法人のお客さまの販路拡大支援や海外進出支援等、多様化するニーズに積極的に対応しています。

また、創業・開業から事業承継までの各ステージにおいて、資金調達支援やM&A、人事・賃金制度等の経営戦略、情報システム化等の情報戦略についてコンサルティング業務にも積極的に取り組み、質の高い金融サービスの提供に努めています。

今後も広域ネットワークを最大限に活用し、地域の特性に応じた商談会やビジネスマッチング業務を多面的に展開するほか、コンサルティング機能の充実やソリューション営業の強化により地域の繁栄をサポートしていきます。

1. 創業・新規事業開拓の支援(2018年4月～9月)

当社グループでは、創業や新規事業を考えるお取引先に対し、制度資金やベンチャー向け投資ファンドなど資金調達面からの支援や産学連携を通じたニーズの発掘、成長分野への情報提供を行っています。

<公的助成申請サポート>

公的助成制度の紹介や申請書策定支援により、お取引先の新規事業意欲を後押しし、事業多角化をサポートしています。

また、「平成29年度補正ものづくり商業・サービス経営力向上支援補助金(公募期間2018.2.28～2018.4.27)」の申請を検討・準備しているお取引先に対して、北陸銀行および北海道銀行(道銀地域総合研究所と連携)では専門家によるアドバイスや申請支援を行いました。

(2018年度上期実績)

	北陸銀行	北海道銀行
平成29年度補正ものづくり補助金採択件数	32件	27件

<創業支援にかかる外部連携強化>

・株式会社マクアケと業務提携 (北海道銀行)

6月、購入型クラウドファンディングサイト「Makuake(マクアケ)」を運営する株式会社マクアケと業務提携を行いました。

本提携は、クラウドファンディングを通じた新商品・新サービスの開発や事業創発、新たな資金調達の提供といった取引先の多様なニーズに対応することで事業・成長戦略を支援することを目的としており、既に成約件数は3件となっています。

・「ほくぎん創業支援セミナー」を開催 (北陸銀行)

6月金沢市で、8月高岡市で、創業を検討されている方や創業して間もない方を対象に創業支援セミナー「創業のツバサ」を日本政策金融公庫と共同開催しました。参加者は、先輩起業家による講演に加え、昨今注目を集めているクラウドファンディングやeコマースに関する講演、創業支援機関や補助金等の説明を熱心に聴講されました。また当日は個別相談会も同時開催しました。

(セミナー2回、参加者36名、個別相談9組)

<経営者へのサポート>

・「道銀・生産性革新サポートチーム」を組成 (北海道銀行)

8月、少子高齢化による労働人口の減少を背景とした「企業の生産性向上」「働き方改革」といった課題のサポートをするため、「道銀・生産性革新サポートチーム」を組成し、組成記念セミナーを開催しました。



本サポートチームの組成により、お取引先企業の生産性革新に取り組みます。

・投資ファンドを活用した資金調達支援 (北海道銀行)

ベンチャー向け投資ファンド「道銀どさんこファンド」「道銀アグリビジネスファンド」「ほっかいどう地方創生ファンド」などを活用した創業・新事業への支援を行っています。

(2018年度上期の出資実績:「ほっかいどう地方創生ファンド」

1件4,980万円)

2. 成長段階における支援(2018年4月～9月)

当社グループの広域店舗網や提携外部機関とのネットワークを活用した商談会・セミナーの開催を通して、お取引先の販路開拓や工場進出といった事業の拡大を支援しています。商談会では、事前相談やテーマの絞り込みにより、お取引先にとって有益なビジネスマッチングの機会となるよう工夫した取り組みを行っています。

また、海外行政機関や金融機関等との業務提携、海外駐在員事務所による情報提供を通じて、お取引先の海外進出支援や現地における継続的なビジネス展開の支援に努めています。

<販路拡大支援>

商談会の開催

・「ビジネス・サミット2018」を開催 (北陸銀行)

5月、名古屋市で、大垣共立銀行との共同主催で、東海・北陸の地域をつなぐ「ビジネス・サミット2018」を開催しました。13回目のテーマは「食」として、展示会には食品関連企業など113社が参加しました。

(参加サプライヤー…157社、参加バイヤー…65社、商談件数…約900件、来場者数…約2,500名)



・「インバウンドプロダクツ2018」を開催 (北海道銀行)

5月、増え続ける訪日外国人客に対する受入態勢強化のため、マーケティング(SNS活用・国別情報発信)、多言語対応(翻訳・WEB関連)、システム(WiFi・電子決済)等のサービス提供事業者と道内の観光関連事業者とのマッチングを目的とした展示・個別商談会を開催しました。

(出展社数25社、来場者数550名、商談件数100件)



セミナーの開催

・「東証IPOセミナーin富山」を開催 (北陸銀行)

4月、富山市で「東証IPOセミナーin富山」を開催しました。これは、2017年7月に北陸銀行と東京証券取引所が締結した「資本市場に関する連携についての基本協定」に基づく活動の一環です。

上場に関心のある企業の経営者、財務・経理担当者、およびIPO業務に携わられている関係者約70名に参加いただき、前田工織株式会社 代表取締役社長兼CEO前田征利氏に上場体験談をお話いただき、パネルディスカッションも行いました。



その他の取り組み

・常陽銀行と「地域製品の販路拡大にかかる連携協定」を締結

(北海道銀行)

5月、常陽銀行との間で「地域製品の販路拡大にかかる連携協定」を締結しました。

本協定の締結により、両行の駐在員事務所の現地情報等を活用し、相互に取引先の新たな販路開拓や海外進出を支援します。また、国内有数の農産物生産地域である北海道と茨城県それぞれの強みを生かしたアグリビジネスにおける情報交換やビジネスマッチング、更には双方地域間物流の効率化などにも取り組みます。



・「WeChat Pay」と「ALIPAY」に関する業務提携 (北海道銀行)

9月、中国本土で最も利用されている中国人向け電子決済サービスである「WeChat Pay(ウィチャットペイ)」と「ALIPAY(アリペイ)」の各サービス代理店と業務提携を行いました。

本提携は、訪日外国人観光客の受入態勢強化を目的としており、決済方法の多様化ニーズに対応し、決済システム導入および消費機会の拡大を支援します。



<海外進出サポート>

商談会・イベントの開催

・「Mfair バンコク2018ものづくり商談会」を開催 (北陸銀行)

6月、タイ・バンコクにて開催された第5回「Mfairバンコク2018ものづくり商談会」を地方銀行・自治体などと共催しました。製造業の産業集積が進むタイにおいては、2012年3月バンコク事務所を開設し、カシコン銀行にトレーニーを派遣するなどしており、ビジネスマッチング等の支援も積極的に行っています。

(出展社数162社、来場者数10,713社、商談件数3,525社)



3. 経営改善・事業再生・業種転換等の支援(2018年4月～9月)

専担部署や中小企業再生支援協議会などの外部機関を活用したコンサルティングによる経営改善の計画策定やその後の各種モニタリングまでフォローを行っています。

<経営改善・事業再生>

・外部機関との連携強化

地域経済活性化支援機構(REVIC)、中小企業再生支援協議会、経営改善計画策定支援事業(早期経営改善支援含む)など外部機関を活用した経営改善の取り組みを強化しています。

また、REVICの特定専門家派遣制度を活用して、「事業性評価研修会」を実施しています。

・深度ある実態把握と経営改善支援

経営改善の課題・改善策を明確にするため、SWOT分析を用いた事業性評価やPDCAサイクルによるモニタリング等により、きめ細かく企業支援活動を実施しています。

経営改善支援の取組実績(2018年度上期)

	北陸銀行	北海道銀行
重点的な経営改善支援を必要とするお取引先	334先	309先
うち再生計画を作成した先	322先	213先
うち事業の改善が確認できた先	10先	25先

・金融円滑化に向けて

当社グループは、地域金融の円滑化を最も重要な役割と捉え、これまで地域のお客さまの資金需要や返済条件の見直しなどのご要望に対して積極的な取り組みを行ってきました。

今後も、中小企業・個人事業主のお客さま、住宅ローンをご利用のお客さまからのご要望に対して真摯かつ柔軟な対応に努め、金融円滑化に関する基本方針に則り積極的な支援を行っていきます。

・経営者保証に関するガイドラインへの取組状況

当社グループは、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会および日本商工会議所が事務局)が公表した「経営者保証に関するガイドライン」(以下、本ガイドラインという)を踏まえ、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備しています。

お客さまと保証契約を締結する場合や保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき誠実に対応するよう努めています。

本ガイドラインの詳細については、以下のホームページをご参照ください。

- ・全国銀行協会 <https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/adr/adrsme/guideline/>
- ・日本商工会議所 <https://www.jcci.or.jp/sme/assurance.html>

・経営者保証に関するガイドラインへの取組実績(2018年度上期)

主要計数	北陸銀行	北海道銀行
①新規に無保証で融資した件数	3,368件	1,628件
②保証契約を変更した件数	152件	32件
③保証契約を解除した件数	254件	109件
④ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	1件	5件

・ほくほく応援ファンド第1号案件の取扱

(北陸銀行)

5月、よろづや観光株式会社に対しほくほく応援ファンドによる優先株式の引受を実施しました。当ファンドは、北陸銀行と株式会社日本政策投資銀行がそれぞれのネットワークや知見を活かし、優先株式や資本性劣後ローン等の金融サービスを組み合わせることで、地域企業の成長や地域経済の活性化に貢献していくことを目的として2018年1月に設立され、本件が第1号の取り扱いとなりました。



<事業承継・M&A>

・提案活動の実施

PB(プライベートバンキング)やM&A、事業承継など専門知識を持つ本部部署が営業店と連携し、外部専門機関も活用しながらお取引先のニーズに応じた提案を行い、円滑なビジネス承継や事業拡大の支援活動を行っています。

・日本M&Aセンターの「地域貢献大賞」「バンカーオブザイヤー」「情報開発大賞」を受賞

(北陸銀行・北海道銀行)

6月、M&Aに関する業務提携先である日本M&Aセンターより「地域貢献大賞」他2賞を受賞しました。「地域貢献大賞」は2017年度、同社との協働実績における各指数を基準に、集計した結果全国7つの地域ブロック内それぞれの地域において最も貢献した提携金融機関に授与されるものです。北陸銀行は北陸・甲信越地区、北海道銀行は北海道・東北地区で受賞しました。

